

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	信託設定日（2020年10月15日）から2030年10月15日まで
運用方針	この投資信託は、世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスマーケーションにより、中長期的に高い成長が見込まれる企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	<p>ベビーファンド UBSグローバルDX株式マザーファンド 受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>マザーファンド 先進国、新興国に上場する企業の株式を主要投資対象とします。</p>
組入制限	<p>ベビーファンド マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。</p> <p>マザーファンド ①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ④デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポートジャヤー、債券等エクスポートジャヤーおよびデリバティブ等エクスポートジャヤーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>
分配方針	<p>毎決算時（毎年10月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、上記①の範囲内で、市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>

UBS グローバルDX株式ファンド (資産成長型)

第1期 運用報告書 (全体版)
決算日 2021年10月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSグローバルDX株式ファンド（資産成長型）」は、去る10月15日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2021. キーンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	税分	込配 み金	期騰 落	中率	株式組入率	純総資産額
(設定日) 2020年10月15日	円 10,000		円 －	% －	% －	百万円 977	
1期(2021年10月15日)	13,363		0	33.6	97.4	7,935	

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注5) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額 騰落率	株式組入比率		
		騰	落	
(設定日) 2020年10月15日	円 10,000	% －	% －	
10月末	9,594	△ 4.1	97.8	
11月末	10,514	5.1	100.4	
12月末	10,838	8.4	99.6	
2021年 1月末	11,259	12.6	98.6	
2月末	11,623	16.2	99.6	
3月末	11,557	15.6	99.3	
4月末	12,388	23.9	98.2	
5月末	11,896	19.0	96.8	
6月末	12,687	26.9	98.3	
7月末	12,680	26.8	98.3	
8月末	13,044	30.4	98.9	
9月末	12,623	26.2	99.0	
(期末) 2021年10月15日	13,363	33.6	97.4	

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は設定日比です。

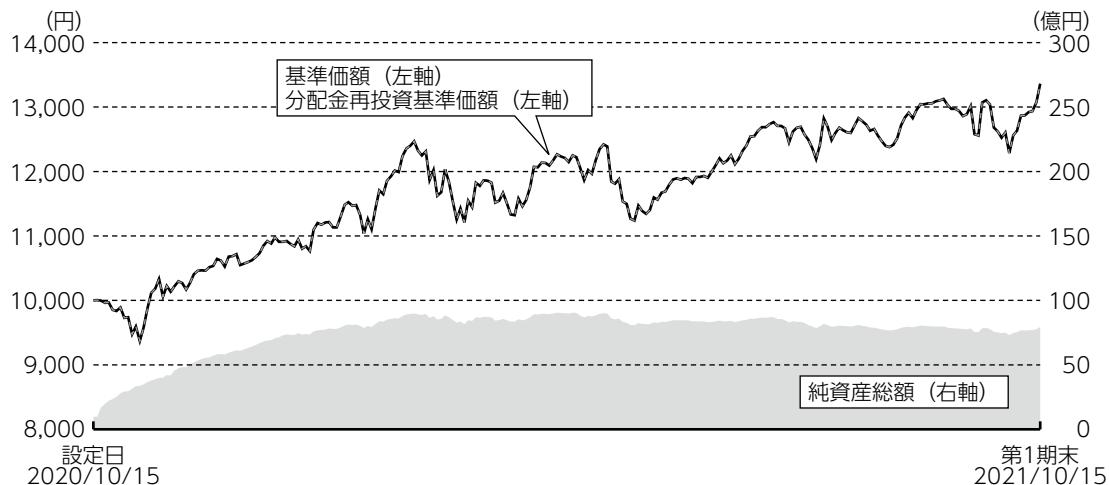
(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

運用経過

基準価額等の推移について

(2020年10月15日～2021年10月15日)



第1期首：10,000円

第1期末：13,363円（既払分配金 0円）

騰落率： 33.6%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は3,363円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+33.6%となりました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の主な上昇要因は、組入れていたマザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドの基準価額は、保有銘柄の株価上昇と為替市場における米ドル高・円安の進行が主なプラス要因となり、上昇しました。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。2020年11月の米大統領選・上下両院議会選に対する警戒感から、期初は不安定な出だしとなりました。しかし選挙後は、同国の政治リスク後退と新型コロナウイルスワクチンの実用化・普及への期待などを背景に上昇し、年末にかけて一段高となりました。2021年に入ると、2~3月にかけての米国長期金利の急上昇や、米国の早期テーパリング（量的緩和の段階的な縮小）開始観測、新型コロナウイルスデルタ株の世界的な感染拡大などを背景に、売り圧力に押される局面もありましたが、世界経済の回復や好調な企業業績などに下支えされて、概ね上昇基調を維持しました。期末にかけては、インフレ率の上昇が続く中、米国を中心に金融引き締めへの警戒感が高まったことから、株価は幾分反落しました。

ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBSグローバルDX株式マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

マザーファンドのポートフォリオについて

主として世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーション（DX）^{*}を通じて、飛躍的な成長が見込まれる企業の株式を実質的な投資対象としています。銘柄選択にあたっては、長期的な成長見通しに優れ、相対的にクオリティが高いと判断される企業を厳選しています。

* 「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」とは、デジタル技術を駆使して、企業経営や事業の在り方、個人の生活や働き方を変革することをいいます。

●期中の主な動き

2020年10月のファンド設定以降、上記投資方針に沿った運用を行いました。

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

各国政府・中央銀行による積極的な財政政策と金融緩和により、株式市場を含めて資本市場の動きが活発化していることも踏まえ、富裕層向け事業に強みを持つ金融サービスの米チャールズ・シュワブや、シカゴ・オプション取引所の持株会社である同CBOEグローバル・マーケットへの新規ポジション構築により、金融のウェイトを引き上げました。また、新型コロナウイルス禍で先送りが見られた手術や通院治療の回復が追い風になるものと見て、ヘルスケアについても、米医療機器メーカーのデクスコムや、医薬品開発業務受託を主力とする米ヘルスケアサービスのIQVIAホールディングスへの新規投資により、ウェイトを引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

中国当局による一連の規制強化の動きによる影響は免れないと見られたネット通販大手のアリババ・グループ・ホールディングのウェイトを引き下げたほか、放課後教育関連サービス大手の好未来教育集団（TALエデュケーション）および新東方教育科技集団（ニュー・オリエンタル・エデュケーション&テクノロジー・グループ）の売却、また、新型コロナウイルス禍での勝ち組企業として大きく買い上げられた反動もあり、経済活動の再開で物色対象が広がる中、上値の重さが目立つ米ネット通販大手のアマゾン・ドットコムのウェイト引き下げにより、一般消費財・サービスについてはウェイトを大きく引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標（参考指標）はありません。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)	
項目	第1期 2020年10月15日～2021年10月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	-円 (- %)
当期の収益	-円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	3,362円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

株式市場は、高値圏でもみ合う展開を予想します。米国では、世界的な供給制約やインフレの長期化は逆風となるものの、企業の決算は概ね良好で景気も回復軌道を辿っており、当面はリスク選好の動きが継続すると見ています。一方、年末の相場上昇を見込んだ買いが先行し、決算などの好材料の株価への織り込みが進む中、高値警戒感が株価の上値を抑える可能性も想定されます。欧州では、景気が回復基調にあり、欧州中央銀行（ECB）は過度な利上げ観測に対してはけん制する見られます。このようなマクロ経済環境と企業業績の改善期待が、引き続き欧州株式の追い風になると見ています。一方、冬場を迎えての電力不足、エネルギーなどの供給制約、それに伴うインフレ加速や中国景気の鈍化などが欧州企業の収益改善を阻害するリスクには、注意が必要と考えます。

当ファンドの今後の運用方針

UBSグローバルDX株式マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

マザーファンドの今後の運用方針

今後も、世界の先進国、新興国に上場する企業のうち、デジタル・トランスフォーメーションにより中長期的に高い成長が見込まれる企業に投資し、信託財産の成長を目指してまいります。

1万口当たりの費用明細

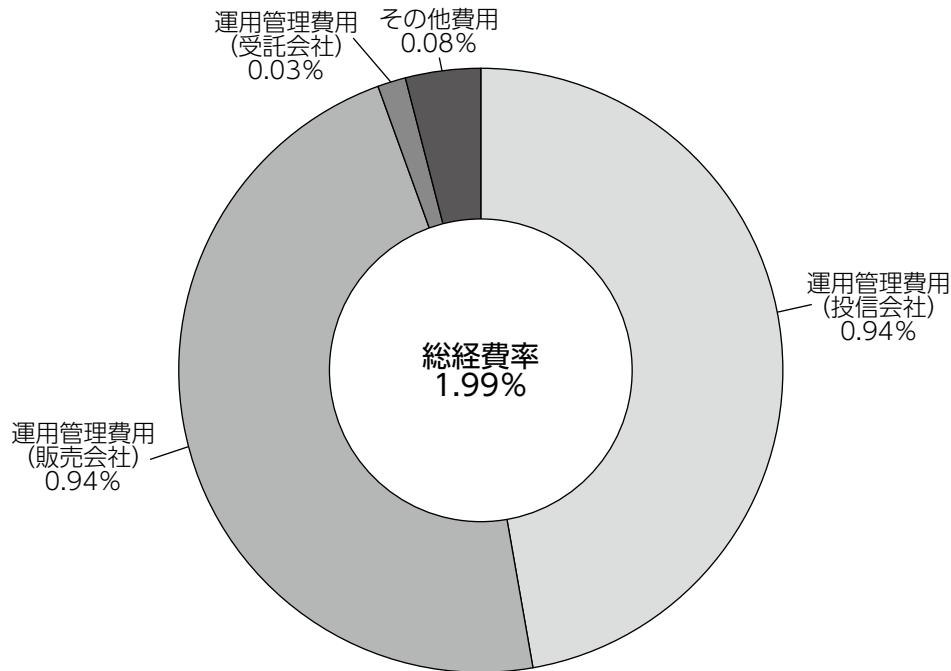
項目	当期 2020/10/15～2021/10/15		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	224円	1.908%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は11,725円です。
（投信会社）	(110)	(0.938)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(110)	(0.938)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料 （株式）	2 (2)	0.015 (0.015)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 （株式）	2 (2)	0.016 (0.016)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用 （保管費用） （監査費用） （印刷費用等） （その他）	9 (6) (2) (2) (0)	0.079 (0.047) (0.014) (0.016) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 監査法人等に支払うファンド監査に係る費用 法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等 受益権の管理事務に関連する費用等
合計	237	2.018	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.99%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況 (自 2020年10月15日 至 2021年10月15日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
UBSグローバルDX株式マザーファンド	千口 7,693,587	千円 7,966,010	千口 1,869,071	千円 2,336,000

(注) 単位未満は切り捨て。

親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	UBSグローバルDX株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	16,984,172千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	8,720,524千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)/(b)	1.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

利害関係人等との取引状況等 (自 2020年10月15日 至 2021年10月15日)

当期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高

(2021年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	口 数	評 価 額
UBSグローバルDX株式マザーファンド	千口 5,824,515	千円 7,927,166

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2021年10月15日現在)

項 目	当期末	
	評価額	比率
UBSグローバルDX株式マザーファンド	千円 7,927,166	% 98.7
コール・ローン等、その他	104,497	1.3
投資信託財産総額	8,031,663	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBSグローバルDX株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（9,921,304千円）の投資信託財産総額（10,000,990千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。1米ドル＝113.89円、1ユーロ＝132.06円、1香港ドル＝14.64円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月15日現在)

項目	当期末
(A) 資産	8,031,663,838円
コール・ローン等	9,497,625
UBSグローバルDX株式マザーファンド(評価額)	7,927,166,213
未収入金	95,000,000
(B) 負債	96,522,540
未払解約金	16,933,624
未払信託報酬	78,589,214
未払利息	26
その他未払費用	999,676
(C) 純資産総額(A-B)	7,935,141,298
元本	5,938,256,431
次期繰越損益金	1,996,884,867
(D) 受益権総口数	5,938,256,431口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,363円

(注記事項)

期首元本額	977,195,527円
期中追加設定元本額	7,861,373,923円
期中一部解約元本額	2,900,313,019円
1口当たり純資産額	1.3363円

損益の状況

(自2020年10月15日 至2021年10月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 15,180円
支払利息	△ 15,180
(B) 有価証券売買損益	1,789,778,457
売買益	2,270,774,293
売買損	△ 480,995,836
(C) 信託報酬等	△ 145,498,081
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,644,265,196
(E) 追加信託差損益金	352,619,671
(配当等相当額)	(△ 2,134)
(売買損益相当額)	(352,621,805)
(F) 計	(D+E) 1,996,884,867
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	1,996,884,867
追加信託差損益金	352,619,671
(配当等相当額)	(993,160)
(売買損益相当額)	(351,626,511)
分配準備積立金	1,644,265,196

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(24,783,166円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,619,482,030円)、および信託約款に規定する収益調整金(352,619,671円)より分配対象収益は1,996,884,867円(10,000口当たり3,362円)ですが、分配を行っておりません。

UBSグローバルDX株式マザーファンド

第1期（2021年10月15日決算）

(計算期間：2020年10月15日～2021年10月15日)

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBSグローバルDX株式マザーファンド」は、<UBSグローバルDX株式ファンド（資産成長型）>が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。
ここにマザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーションにより、中長期的に高い成長が見込まれる企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	先進国、新興国に上場する企業の株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ④デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

UBSグローバルDX株式マザーファンド

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 謄 落 中 率	株 式 組 入 比 率	純 総 資 産 額
(設 定 日) 2020年10月15日	円 10,000	% —	% —	百万円 1,076
1期 (2021年10月15日)	13,610	36.1	97.5	9,851

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標（参考指標）はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	株 式 組 入 比	
		騰 落 率	%
(設 定 日) 2020年10月15日	円 10,000	% —	% —
10月末	9,601	△ 4.0	97.8
11月末	10,538	5.4	100.2
12月末	10,880	8.8	99.4
2021年 1月末	11,320	13.2	98.3
2月末	11,702	17.0	99.2
3月末	11,657	16.6	98.7
4月末	12,510	25.1	98.2
5月末	12,033	20.3	96.7
6月末	12,851	28.5	98.0
7月末	12,864	28.6	97.9
8月末	13,253	32.5	98.2
9月末	12,849	28.5	98.2
(期 末) 2021年10月15日	13,610	36.1	97.5

(注1) 基準価額は1万口当たり。

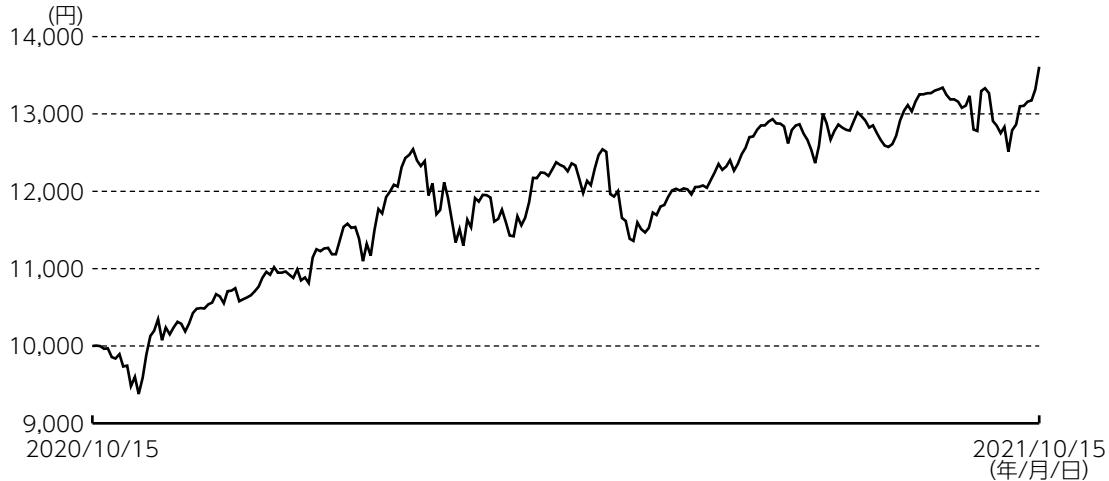
(注2) 謄落率は設定日比です。

(注3) 当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標（参考指標）はありません。

運用経過

基準価額の推移について

(2020年10月15日～2021年10月15日)



当期の基準価額は3,610円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+36.1%となりました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、保有銘柄の株価上昇と為替市場における米ドル高・円安の進行が主なプラス要因となり、上昇しました。

投資環境について

当期のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。2020年11月の米大統領選・上下両院議会選に対する警戒感から、期初は不安定な出だしとなりました。しかし選挙後は、同国の政治リスク後退と新型コロナウイルスワクチンの実用化・普及への期待などを背景に上昇し、年末にかけて一段高となりました。2021年に入ると、2～3月にかけての米国長期金利の急上昇や、米国の早期テーパリング（量的緩和の段階的な縮小）開始観測、新型コロナウイルスデルタ株の世界的な感染拡大などを背景に、売り圧力に押される局面もありましたが、世界経済の回復や好調な企業業績などに下支えされて、概ね上昇基調を維持しました。期末にかけては、インフレ率の上昇が続く中、米国を中心に金融引き締めへの警戒感が高まったことから、株価は幾分反落しました。

ポートフォリオについて

主として世界の先進国、新興国に上場する企業のうちデジタル・トランスフォーメーション(DX)※を通じて、飛躍的な成長が見込まれる企業の株式を実質的な投資対象としています。銘柄選択にあたっては、長期的な成長見通しに優れ、相対的にクオリティが高いと判断される企業を厳選しています。

※「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」とは、デジタル技術を駆使して、企業経営や事業の在り方、個人の生活や働き方を変革することをいいます。

●期中の主な動き

2020年10月のファンド設定以降、上記投資方針に沿った運用を行いました。

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

各国政府・中央銀行による積極的な財政政策と金融緩和により、株式市場を含めて資本市場の動きが活発化していることも踏まえ、富裕層向け事業に強みを持つ金融サービスの米チャールズ・シュワブや、シカゴ・オプション取引所の持株会社である同CBOEグローバル・マーケットへの新規ポジション構築により、金融のウェイトを引き上げました。また、新型コロナウイルス禍で先送りが見られた手術や通院治療の回復が追い風になるものと見て、ヘルスケアについても、米医療機器メーカーのデクスコムや、医薬品開発業務受託を主力とする米ヘルスケアサービスのIQVIAホールディングスへの新規投資により、ウェイトを引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

中国当局による一連の規制強化の動きによる影響は免れないと見られたネット通販大手の阿里巴巴・グループ・ホールディングのウェイトを引き下げたほか、放課後教育関連サービス大手の好未来教育集団(TALエデュケーション)および新東方教育科技集団(ニュー・オリエンタル・エデュケーション&テクノロジー・グループ)の売却、また、新型コロナウイルス禍での勝ち組企業として大きく買い上げられた反動もあり、経済活動の再開で物色対象が広がる中、上値の重さが目立つ米ネット通販大手のアマゾン・ドットコムのウェイト引き下げにより、一般消費財・サービスについてはウェイトを大きく引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの投資対象市場の値動きを示す適切な指標がないため、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標（参考指標）はありません。

今後の運用方針

投資環境の見通し

株式市場は、高値圏でもみ合う展開を予想します。米国では、世界的な供給制約やインフレの長期化は逆風となるものの、企業の決算は概ね良好で景気も回復軌道を辿っており、当面はリスク選好の動きが継続すると見ています。一方、年末の相場上昇を見込んだ買いが先行し、決算などの好材料の株価への織り込みが進む中、高値警戒感が株価の上値を抑える可能性も想定されます。欧州では、景気が回復基調にあり、欧州中央銀行（ECB）は過度な利上げ観測に対してはけん制する見られます。このようなマクロ経済環境と企業業績の改善期待が、引き続き欧州株式の追い風になると見ています。一方、冬場を迎えての電力不足、エネルギーなどの供給制約、それに伴うインフレ加速や中国景気の鈍化などが欧州企業の収益改善を阻害するリスクには、注意が必要と考えます。

今後の運用方針

今後も、世界の先進国、新興国に上場する企業のうち、デジタル・トランスフォーメーションにより中長期的に高い成長が見込まれる企業に投資し、信託財産の成長を目指してまいります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/10/15~2021/10/15		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	2円 (2)	0.015% (0.015)	売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.016 (0.016)	有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (0)	0.047 (0.047) (0.000)	その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 海外の税務手続きに関する費用等
合 計	10	0.078	

*期中の平均基準価額は11,838円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

期中の売買及び取引の状況 (自 2020年10月15日 至 2021年10月15日)

株 式

	買付		売付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国内	千株	千円	千株	千円
上 場	6	74,963	—	—
外国	百株		百株	
ア メ リ カ	7,064 (1,196)	千米ドル 101,904 (—)	3,706	千米ドル 40,519
ユーロ オ フ ン ダ	43	千ユーロ 2,647	14	千ユーロ 1,152
香 港	2,760 (84)	千香港ドル 59,179 (—)	1,480	千香港ドル 30,615

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	16,984,172千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,720,524千円
(c) 売買高比率 (a)/(b)	1.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

主要な売買銘柄 (自 2020年10月15日 至 2021年10月15日)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
MICROSOFT CORP(アメリカ)	千株 17	千円 391,943	円 22,598	CAPITAL ONE FINANCIAL CORP(アメリカ)	千株 15	千円 236,605	円 15,595
AMAZON.COM INC(アメリカ)	1	369,505	337,140	ALIBABA GROUP HOLDING LTD(香港)	69	192,631	2,779
ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	1	356,401	202,041	AMAZON.COM INC(アメリカ)	0.457	172,082	376,547
ALIBABA GROUP HOLDING LTD(香港)	86	306,217	3,548	GLOBAL PAYMENTS INC(アメリカ)	7	147,513	18,868
TENCENT HOLDINGS LTD(香港)	34	264,725	7,763	NETEASE INC-ADR(アメリカ)	13	141,574	10,409
VISA INC-CLASS A SHARES(アメリカ)	10	221,279	21,539	HUBSPOT INC(アメリカ)	2	140,572	56,296
SERVICENOW INC(アメリカ)	3	213,142	55,347	APPLIED MATERIALS INC(アメリカ)	8	127,496	14,890
TRADE DESK INC/THE -CLASS A(アメリカ)	2	210,533	74,157	TRADE DESK INC/THE -CLASS A(アメリカ)	8	122,507	14,279
TAL EDUCATION GROUP- ADR(アメリカ)	26	201,915	7,534	SPLUNK INC(アメリカ)	8	122,324	14,505
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR(アメリカ)	19	198,992	10,013	WUXI APPTEC CO LTD-H(香港)	50	117,589	2,323

(注) 金額は受け渡し代金。

利害関係人等との取引状況等 (自 2020年10月15日 至 2021年10月15日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2021年10月15日現在)

(1) 国内株式

銘柄	当期末	
	株数	評価額
電気機器 (100.0%)	千株	千円
ソニーグループ	6.1	78,629
合計	株数・金額	6 78,629
	銘柄数 <比率>	1 <0.8%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 外国株式

銘柄	当期末			業種等
	株数	評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)				
ADVANCED MICRO DEVICES	百株 114	千米ドル 1,280	千円 145,784	半導体・半導体製造装置
ANALOG DEVICES INC	78	1,325	151,009	半導体・半導体製造装置
APPLIED MATERIALS INC	107	1,413	161,003	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	6	2,108	240,149	小売
FEDEX CORP	47	1,078	122,786	運輸
JPMORGAN CHASE & CO	119	1,952	222,331	銀行
MICROSOFT CORP	141	4,295	489,170	ソフトウェア・サービス
MICRON TECHNOLOGY INC	191	1,298	147,879	半導体・半導体製造装置
MCDONALD'S CORP	58	1,430	162,933	消費者サービス
SALESFORCE.COM INC	65	1,897	216,117	ソフトウェア・サービス
WALT DISNEY CO/THE	89	1,563	178,037	メディア・娯楽
APPLE INC	88	1,268	144,473	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	58	1,693	192,826	ソフトウェア・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	150	1,688	192,355	半導体・半導体製造装置
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	51	865	98,575	メディア・娯楽
UNIVERSAL DISPLAY CORP	67	1,195	136,209	半導体・半導体製造装置
NETFLIX INC	30	1,928	219,654	メディア・娯楽
INTUITIVE SURGICAL INC	58	1,926	219,442	ヘルスケア機器・サービス
MASTERCARD INC - A	26	912	103,957	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	155	1,124	128,097	半導体・半導体製造装置
NIKE INC -CL B	114	1,800	205,024	耐久消費財・アパレル
NVIDIA CORP	76	1,659	188,968	半導体・半導体製造装置
SCHWAB (CHARLES) CORP	239	1,871	213,146	各種金融
VISA INC-CLASS A SHARES	88	1,992	226,913	ソフトウェア・サービス
DEXCOM INC	29	1,639	186,680	ヘルスケア機器・サービス
LULULEMON ATHLETICA INC	43	1,764	200,936	耐久消費財・アパレル
ACCENTURE PLC-CL A	49	1,669	190,131	ソフトウェア・サービス
CBOE GLOBAL MARKETS INC	97	1,230	140,179	各種金融
TE CONNECTIVITY LTD	88	1,306	148,834	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SERVICENOW INC	30	2,000	227,880	ソフトウェア・サービス
PALO ALTO NETWORKS INC	29	1,504	171,394	ソフトウェア・サービス

銘柄	当期末				業種等	
	株数	評価額				
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)						
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	百株 134	千米ドル 1,038	千円 118,228		ソフトウェア・サービス	
IQVIA HOLDINGS INC	22	547	62,348		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BOOKING HOLDINGS INC	6	1,645	187,350		消費者サービス	
DOCUSIGN INC	38	1,004	114,397		ソフトウェア・サービス	
IAA INC	128	755	86,052		商業・専門サービス	
MATCH GROUP INC	114	1,792	204,103		メディア・娯楽	
10X GENOMICS INC-CLASS A	31	491	55,921		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SCHRODINGER INC	51	282	32,202		ヘルスケア機器・サービス	
SINGULAR GENOMICS SYSTEMS IN	233	320	36,529		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
AFFIRM HOLDINGS INC	40	599	68,313		ソフトウェア・サービス	
MARQETA INC-A	229	520	59,312		ソフトウェア・サービス	
ARISTA NETWORKS INC	33	1,318	150,117		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
VIMEO INC	129	419	47,822		メディア・娯楽	
MARVELL TECHNOLOGY INC	278	1,819	207,200		半導体・半導体製造装置	
FRESHWORKS INC-CL A	79	329	37,500		ソフトウェア・サービス	
HUBSPOT INC	18	1,492	169,936		ソフトウェア・サービス	
QORVO INC	85	1,404	160,009		半導体・半導体製造装置	
TRANSUNION	88	1,016	115,751		商業・専門サービス	
SQUARE INC - A	31	779	88,731		ソフトウェア・サービス	
TELADOC HEALTH INC	31	428	48,763		ヘルスケア機器・サービス	
S&P GLOBAL INC	39	1,727	196,729		各種金融	
ALPHABET INC-CL A	14	4,130	470,374		メディア・娯楽	
SEA LTD-ADR	46	1,621	184,634		メディア・娯楽	
ZSCALER INC	52	1,538	175,187		ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	4,554 55	77,710 -	8,850,406 <89.8%>		
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	23	千ユーロ 1,552	205,077		半導体・半導体製造装置	
ADYEN NV	5	1,563	206,500		ソフトウェア・サービス	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数 <比率>	29 2	3,116 -	411,578 <4.2%>		
(香港)						
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	1,000	千香港ドル 5,675	83,082		保険	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	170	2,742	40,144		小売	
TENCENT HOLDINGS LTD	194	9,374	137,236		メディア・娯楽	
小計	株数・金額 銘柄数 <比率>	1,364 3	17,791 -	260,462 <2.6%>		
合計	株数・金額 銘柄数 <比率>	5,948 60	-	9,522,448 <96.7%>		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

投資信託財産の構成

(2021年10月15日現在)

項 目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 9,601,077	% 96.0
コール・ローン等、その他	399,913	4.0
投資信託財産総額	10,000,990	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(9,921,304千円)の投資信託財産総額(10,000,990千円)に対する比率は99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1米ドル=113.89円、1ユーロ=132.06円、1香港ドル=14.64円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月15日現在)

項 目	当期末
(A) 資産	10,148,990,125円
コール・ローン等	341,776,687
株式(評価額)	9,601,077,072
未収入金	202,453,698
未収配当金	3,682,668
(B) 負債	297,271,206
未払本金	148,271,204
未払解約金	149,000,000
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	9,851,718,919
元本	7,238,792,591
次期繰越損益金	2,612,926,328
(D) 受益権総口数	7,238,792,591口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,610円

(注記事項)

期首元本額	1,076,880,000円
期中追加設定元本額	8,365,974,241円
期中一部解約元本額	2,204,061,650円
1口当たり純資産額	1.3610円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBSグローバルDX株式ファンド(予想分配金提示型)	1,414,276,637円
UBSグローバルDX株式ファンド(資産成長型)	5,824,515,954円

損益の状況

(自2020年10月15日 至2021年10月15日)

項 目	当期
(A) 配当等収益	35,370,864円
受取配当金	35,413,489
受取利息	△ 9,092
支払利息	△ 33,533
(B) 有価証券売買損益	2,619,939,051
売買益	3,362,659,408
売買損	△ 742,720,357
(C) 信託報酬等	△ 4,120,996
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,651,188,919
(E) 追加信託差損益金	513,175,759
(F) 解約差損益金	△ 551,438,350
(G) 計(D+E+F)	2,612,926,328
次期繰越損益金(G)	2,612,926,328

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。